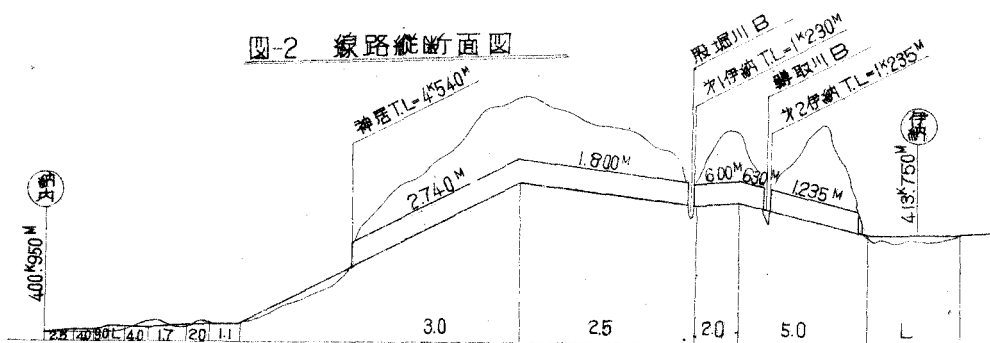
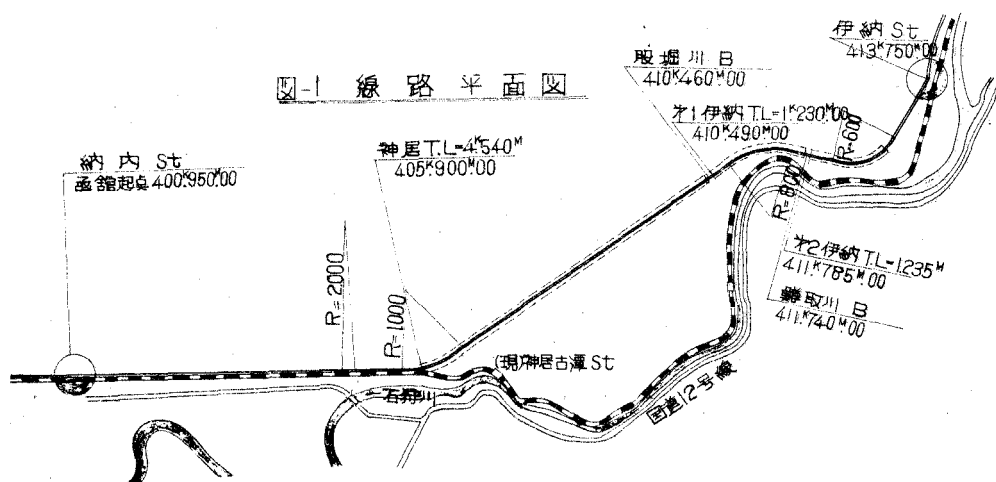


中部支社
(前) 〇鉄工機工事局 正員 羽島 栄治
鉄工機工事局 一〇後藤 肇

§1 概要

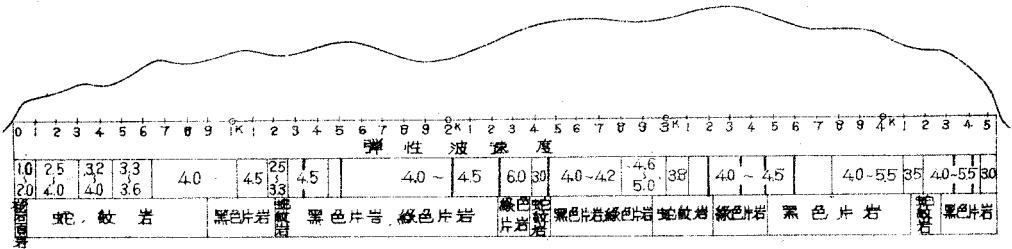
神居すい道は函館本線複線化計画にもなり、納内～伊納間を短絡して別線で結ぶ区間に施工される延長 4.540^m の複線交流電化断面のすい道で、40年9月から両坑口より工事を進めている。



§2 地質

本すい道の地質は主として黑色片岩、緑色片岩、輝緑岩、蛇紋岩より成る。このうち蛇紋岩は全体の約1/3を占め、大別して葉片状のものと塊状のものに分けられる。納内方坑口より約800mにみられる葉片状蛇紋岩は多量の滑石分を含み、非常にもろく、かなりの膨脹性と地圧が認められる。

図-3 神居ずい道地質図



§3 施工方法

各種の地質調査及び試験坑における測定結果等に基づき、葉片状蛇紋岩に対しては側壁導坑先進工法によることとし、覆工断面は巻厚75^{mm}に内巻35^{mm}の設計とした。上部半断面の支保工はH-200 ないし、H-250とし縫地、リング掘りに依っている。

図-4 ずい道断面図(側壁導坑式)

